

マルチベーシック I (学び直し)

教科	学校設定	単位	3	年次	1年次
使用教科書	自校で作成した学習プリント等			教育課程	四修制
副教材等	自校で作成した学習プリント等				

「マルチベーシック」で学ぶこと (科目の概要と到達目標)

- ・義務教育段階の学習内容、読み書き計算の学習をおこないます。
- ・自分の苦手な科目について、学び直しの機会とします。
- ・高等学校の学習に必要な基礎学力を身に付けます。
- ・社会生活に最低限必要な学力を身に付けます。

「マルチベーシック」でつきたい力 (分かります・できます)

- ①義務教育段階の漢字の読み書きが分かります。
- ②義務教育段階の算数や数学の計算が分かります。
- ③中学校までの基礎的な英語の学習内容が分かります。
- ④自分で勉強する方法や分からないところを学習する方法が分かります。
- ⑤毎日の学習を記録することにより自分の進度が分かります。

「マルチベーシック」で大切なこと (学び方や取組の姿勢など)

- ・毎朝30分の授業に出席して、課題に積極的に取り組みます。
- ・分からないことをそのままにしないで、調べたり質問したりして解決します。
- ・自分の学習の目標を立てて、毎日計画的に取り組みます。

1 学習の計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

指導項目	指導内容	配当時間	備考
		3 単位	
国語	漢字の学習 (書き順、読み方、書き方)	週30分 (年35回)	曜日を指定
数学	計算の練習 (整数・小数の四則計算、分数、分割)	週30分 (年35回)	曜日を指定
英語	中学校の英語の復習 (アルファベット・単語・基本的文章)	週30分 (年35回)	曜日を指定
理科	中学校の理科の復習 (生物・地学分野)	週30分 (年35回)	曜日を指定
社会	中学校社会の復習 (主に国内の地理と歴史)	週30分 (年35回)	曜日を指定
配当時間計		105時間	

2 評価の観点・方法 (及び年間の評定)

評価は、毎日の取り組みの記録 (提出物) と学習態度、定期考査、基礎力診断テストの得点等を総合的に評価します。

マルチベーシックⅡ（学び直し）

教科	学校設定	単位	3	年次	2年次
使用教科書	自校で作成した学習プリント等			教育課程	四修制
副教材等	自校で作成した学習プリント等				

「マルチベーシック」で学ぶこと（科目の概要と到達目標）

- ・義務教育段階の学習内容、読み書き計算の学習をおこないます。
- ・自分の苦手な科目について、学び直しの機会とします。
- ・高等学校の学習に必要な基礎学力を身に付けます。
- ・社会生活に最低限必要な学力を身に付けます。

「マルチベーシック」でつきたい力（分かります・できます）

- ①義務教育段階の漢字の読み書きが分かります。
- ②義務教育段階の算数や数学の計算が分かります。
- ③中学校までの基礎的な英語の学習内容が分かります。
- ④自分で勉強する方法や分からないところを学習する方法が分かります。
- ⑤毎日の学習を記録することにより自分の進度が分かります。

「マルチベーシック」で大切なこと（学び方や取組の姿勢など）

- ・毎朝30分の授業に出席して、課題に積極的に取り組みます。
- ・分からないことをそのままにしないで、調べたり質問したりして解決します。
- ・自分の学習の目標を立てて、毎日計画的に取り組めます。

1 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

指導項目	指導内容	配当時間	備考
		3 単位	
国語	漢字の学習 （読み方、書き方）	週30分 （年35回）	曜日を指定
数学	計算の練習 （四則計算、式の計算）	週30分 （年35回）	曜日を指定
英語	中学校の英語の復習 （単語と基本的文章）	週30分 （年35回）	曜日を指定
理科	中学校の理科の復習 （化学分野）	隔週30分 （年18回）	曜日を指定
社会	中学校社会の復習 （主に国内の地理と歴史）	隔週30分 （年17回）	曜日を指定
専門 （科別）	生産科学科（農業の基礎的用語等）	週30分 （年35回）	曜日を指定
	総合生活科（技術家庭の復習）		
配当時間計		105時間	

2 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、毎日の取り組みの記録（提出物）と学習態度、定期考査、基礎力診断テストの得点等を総合的に評価します。

マルチベーシックⅢ（学び直し）

教科	学校設定	単位	3	年次	3年次
使用教科書	自校で作成した学習プリント等			教育課程	四修制
副教材等	自校で作成した学習プリント等				

「マルチベーシック」で学ぶこと（科目の概要と到達目標）

- ・義務教育段階の学習内容、読み書き計算の学習をおこないます。
- ・自分の苦手な科目について、学び直しの機会とします。
- ・高等学校の学習に必要な基礎学力を身に付けます。
- ・社会生活に最低限必要な学力を身に付けます。

「マルチベーシック」でつけたい力（分かります・できます）

- ①義務教育段階の漢字の読み書きが分かります。
- ②義務教育段階の算数や数学の計算が分かります。
- ③中学校までの基礎的な英語の学習内容が分かります。
- ④自分で勉強する方法や分からないところを学習する方法が分かります。
- ⑤毎日の学習を記録することにより自分の進度が分かります。

「マルチベーシック」で大切なこと（学び方や取組の姿勢など）

- ・毎朝30分の授業に出席して、課題に積極的に取り組みます。
- ・分からないことをそのまましないで、調べたり質問したりして解決します。
- ・自分の学習の目標を立てて、毎日計画的に取り組めます。

1 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

指導項目	指導内容	配当時間	備考
		3 単位	
国語	漢字の学習 （読み方、書き方）	週30分 （年35回）	曜日を指定
数学	計算の練習 （四則計算、式の計算）	週30分 （年35回）	曜日を指定
英語	中学校の英語の復習 （単語と基本的文章）	週30分 （年35回）	曜日を指定
専門 （科別）	生産科学科（農業の基礎的用語、作業）	週30分 を2回 （年70回）	曜日を指定
	総合生活科（家庭の基礎的な復習）		
配当時間計		105時間	

2 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、毎日の取り組みの記録（提出物）と学習態度、定期考査、基礎力診断テストの得点等を総合的に評価します。

カルチベーション（学び直し）

教科	学校設定	単位	2	年次	1年次
使用教科書	自校で作成した学習プリント			教育課程	三修制
副教材等	自校で作成した学習プリント				

「カルチベーション」で学ぶこと（科目の概要と到達目標）

- ・義務教育段階の学習内容、読み書き計算の確認を行います。
- ・自分の苦手な科目について、学び直しの機会とします。
- ・高等学校の学習に必要な基礎学力を身に付けます。
- ・社会生活に必要な学力を身に付けます。

「カルチベーション」でつきたい力（分かります・できます）

- ①義務教育段階の漢字の読み書きが分かります。
- ②義務教育段階の算数や数学の計算が分かります。
- ③中学校までの基礎的な英語の学習内容が分かります。
- ④自分で勉強する方法や分からないところを学習する方法が分かります。
- ⑤毎日の学習を記録することにより自分の進度が分かります。

「カルチベーション」で大切なこと（学び方や取組の姿勢など）

- ・毎日の課題に積極的に取り組みます。
- ・分からないことをそのまましないで、調べたり質問したりして解決します。
- ・自分の学習の目標を立てて、毎日計画的に取り組みます。
- ・授業時間内で終わらなかった課題は、家庭学習で取り組みます。

1 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

指導項目	指導内容	配当時間	備考
		2単位	
国語	漢字の学習 (読み方、書き取り)	毎時間約20分 (年70回)	
数学	計算の練習 (整数・小数の四則計算・分数)	各時間約30分 (年35回)	
英語	中学校の英語の復習 (アルファベット・単語 ・基本的文章)	各時間約30分 (年35回)	
配当時間計		70時間	

1 単位時間50分間の授業において、国語を約20分間と、数学または英語を約30分間学習します。

2 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、毎日の取り組みの記録（提出物）と学習態度、定期考査、基礎力診断テストの得点等を総合的に評価します。

キャリアデザイン

教科	学校設定	単位	2	年次	最終年次
使用教科書	自校で作成した学習プリント			教育課程	三修制・四修制
副教材等	自校で作成した学習プリント				

「キャリアデザイン」で学ぶこと（科目の概要と到達目標）

- ・自己理解と生涯にわたる進路設計
- ・社会にでて必要なマナーやコミュニケーション力の充実
- ・社会生活に必要な学力や学習に取り組む意欲や態度を身に付ける

「キャリアデザイン」でつけたい力（分かります・できます）

- ①自分自身が客観的に分かります。
- ②将来の生き方や卒業後の進路希望が分かります。
- ③自己の高校生活の成果が分かります。
- ④生涯にわたって学習し続ける意義や方法が分かります。
- ⑤生涯にわたって生活する上で最低限必要なことが分かります。

「キャリアデザイン」で大切なこと（学び方や取組の姿勢など）

- ・毎日の課題に積極的に取り組みます。
- ・分からないことをそのままにしないで、調べたり質問したりして解決します。
- ・自分の学習の目標を立てて、毎日計画的に取り組みます。
- ・授業時間内で終わらなかった課題は、家庭学習で取り組みます。

1 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

一般常識演習（入社試験および進路先を想定した実践演習）
面接、求人票、履歴書
社会保障や保険、税金などについて
人生設計（3年後、10年後、生涯にわたる設計）

2 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、毎日の取り組みの記録（提出物）と学習態度、定期考査、一般常識診断テストの得点等を総合的に評価します。